

発言者	内 容
事務局	開催宣言及び定足数確認
会議の公開・非公開	
崎元委員長	公開・非公開についての検討。 会議次第により公開しても支障がないと思われる旨説明。 他委員の同意があり、本日の会議は公開することに決定。
議題 平成25年度業務実績評価について	
崎元委員長	それでは、議事に入ります。 議題の「平成25年度業務実績評価」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1～資料3及び参考資料により「平成25年度業務実績評価」について説明。
崎元委員長	資料14ページの各委員からの御意見について審議を行います。 事業番号6について、カリキュラム変更をなぜ今年度からではなく平成27年度からとしたのかという点についてです。参考資料でこれまでの経緯が説明されていますが、これでよろしいでしょうか。
元山委員	はい。結構でございます。
崎元委員長	続いて事業番号16の全学FDについての取組について、提案された方は少し付言してください。
元山委員	資料14ページに書いているとおりで、実績報告書にあるように講演会の回数及び参加人数が多く、更にフォローアップも行われています。平成24年度も着実な取組として評価しましたが、今年度も非常にいい取組をなされているので提案しました。
崎元委員長	他の委員の方、御意見いかがですか。 私も、ご指摘を受けて見直してみました。元山委員からお話がありましたようなバラエティに富んだFD(ファカルティ・ディベロップメント)の取組をしているということと、それぞれの会合での参加者率が非常に高いので、昨年引き続き着実な取組として評価していいと思いました。大学でFDをやると興味のある人は参加します。例えば教育のFDをやると、教育熱心な人は参加しますが、研究ばかりしているような人は参加しないのが通常です。しかし、県立大学は高率の参加者を持続しておられるので、着実と評価してもいいと思いました。他の皆さんはいかがでしょう。
委員一同	(了承の声あり)

崎元委員長	<p>それでは、事業番号 16 は着実な取組として採択することとします。</p> <p>次に、事業番号 22 英語運用能力育成プログラムについてです。こちらについて、提案された方は付言してください。</p>
縄田委員	<p>資料14ページに記載してあるとおりですが、中期計画があって、それに基づく具体的な年度計画を掲げていらっしゃると思います。育成プログラムについても非常に実践的であり、年度計画の教育体制についての検討、あるいはそれぞれに目標を定め、対応した計画が実践されていると思いました。特に自己分析や自己評価を行うなど、細かいですが、ひとり、ひとりに対応したプログラムを組まれているということで、地味な取組ではありますが、着実に進められていると思います。</p>
崎元委員長	<p>委員の皆さんの御意見はいかがでしょうか。</p> <p>私も、再度ご指摘に従って確認しました。昨年度の時点では卒業時にどのように英語力の向上率を判定するかということが決定されていませんでした。それで、この委員会で指摘し、4年生でテストを実施し4年間の向上率をどのように測定するかが今年提示されました。今回の実績には評価委員会が注意喚起をしたことを直した部分が含まれます。今年は昨年度の課題も含めて更なる取組があったということであれば着実と評価できると考えますが、他の委員の皆さんはいかがですか。</p> <p>元山委員は昨年度から引き続き委員をされていますが、いかがですか。</p>
元山委員	<p>成果がこれから出てくるころだろうと思いますので、今回は着実の評価までではないかなと思います。</p>
崎元委員長	<p>熊本県立大学が頑張っておられることは確かですが、年度計画についてやっているのが当然のことですので、そこに何かもう1つ成果があれば評価できると思います。</p>
縄田委員	<p>確かに委員長がおっしゃるように、昨年度の課題に対して補完したという側面もあると思いますので、取り下げます。</p>
崎元委員長	<p>英語運用能力の向上については、頑張りたいところですが、今回は原案のままとします。次は、事業番号 28 についてです。こちらについて、御意見を付言してください。</p>
元山委員	<p>こちらは昨年度に引き続きの評価になりますが、具体的に29課題に対して17件の外部資金を獲得し、さらに研究資金の獲得に向けて12件の申請を行っています。また、非常に具体的なテーマをもって、有明海の再生につながるような取組をされており、まさに地域の活性化につながる非常にいい取組ですので、顕著な取組と評価する提案を行いました。</p>
久峨委員	<p>私も、元山委員の御意見に賛成でして、やはり29の課題に対して17件の外部資金を獲得できたということは割合的にかなり高いですので、高い評価ができるのではないかと思います。</p>

崎元委員長	私は少し厳しめで、この研究で何か成果が出てくれれば顕著な取組と評価できると思います。ただ、研究の中から森林計画学賞を受賞されていますので、成果は一部出つつあるという判断も可能だと思います。複数の委員から御意見がありましたので、こちらについては、顕著な取組として評価するという事で、他の委員の方もよろしいですか。
委員一同	(了承の声あり。)
崎元委員長	はい、それでは、顕著な取組とします。 次に、事業番号38のサバティカル研修の助成制度に対する質問です。いかがでしょうか。
元山委員	教育の質の改善、向上については、教える側の質の向上が非常に大事だということで、サバティカル制度の助成の内容を確認しました。参考資料の回答で結構でございます。
崎元委員長	次は、事業番号44についてです。
元山委員	就職については、90%を超える高い就職率が評価されておりますが、よく聞くと就職後1年目、2年目、3年目の離職問題です。就職率の向上だけでなく、更にモニタリングで追っかけていくと、長い目でみたミスマッチが改善されるのではないかとということで参考のために提起しました。 先ほど、今年度からアンケート調査を実施するという説明がありましたので、その後改善に向けた取組の意欲があるということで外していただいて結構でございます。
崎元委員長	法人は今後どのような調査をするか、事務局は具体的に確認していますか。
事務局	今回の調査について法人からは、熊本県内にある大学等の集まりである「大学コンソーシアム」が熊本県から「大学生及び企業従業員に係る男女協働参画意識・実態調査結果から抽出された課題解決に係る調査研究業務」の委託を受け、その中で調査をされると聞いています。企業に就職された方のフォローの検証内容としては、「働き続けられる要因と対応策」の中で、就業を継続した要因や継続できなかった要因を調査し、働き続けるために必要な環境や企業の取組み支援等を検討する」という内容での調査が予定されているようです。
崎元委員長	大学独自と言うわけではなく、大学コンソーシアムでやるということですね。
事務局	はい、そうでございます。

<p>崎元委員長</p>	<p>法人はこの評価委員会とは別に認証機関の評価を受けられると思います。その際には、企業から大学そのものがどう評価されているのかと伺われます。企業に対して就職された学生の調査をする際には、是非県立大学そのものが企業にとってどういう風に評価されているのかデータを集めるよう事務局からアドバイスをしておいてください。</p> <p>次に、事業番号48事務職員の資質向上のためのSDについてです。</p>
<p>元山委員</p>	<p>講演会を4回実施したということで、A評価をされており、あまりにも形ばかりの評価ではないかということで、課題というよりは評価のAが高すぎるのではないかという投げかけをしたところです。先程、参考資料にアンケート結果が出ておりまして、アンケート結果についても大変いい結果が出ているということです。課題というのは取り下げます。</p>
<p>崎元委員長</p>	<p>評価はBに下げますか。</p>
<p>元山委員</p>	<p>アンケート結果からいくとA評価だと思います。</p>
<p>崎元委員長</p>	<p>普通以上にはやっているのだからA評価でいいですね。</p> <p>資料14ページ、委員からの御意見に対する審議は以上ですが、他に委員から御意見はございませんか。</p>
<p>久峨委員</p>	<p>中期計画にはないのですが、先ほどの研修に関しまして、今回課題として情報セキュリティ等の進捗状況が計画に沿っていないということで指摘が出ていました。それに付随して、情報セキュリティ研修は希望者のみ、その希望者もできる限りの参加者は集めているという(第1回の評価委員会での法人に対するヒアリングの際の)説明でしたが、情報セキュリティ研修については、すべての情報を扱う方が受講するというのが望まれると思います。参加者が多ければいいのではなく、参加者100%を目指すということが大事なことだと思います。</p> <p>あと、先ほどの事務職員の資質向上のためのSD研修についてですが、資質向上も大事ですが、その他に職業倫理、教育者としての倫理観や道徳、人権に関する研修も必要になってくるのではないかと思います。道徳に関しては実績報告書で人権に関する目標を達成するための取組として34ページにハラスメントの相談室を設置しているということで、道徳については相談室を設けることである程度皆さんに周知できるのではないかと思います。職業倫理的な研修や情報セキュリティの研修に関しては100%の受講を目指すというような視点も必要なのではないかと思いました。</p>
<p>崎元委員長</p>	<p>今の御意見ですが、課題とすれば今の御意見を盛り込むことはできますが、課題にしないとしたら、評価委員会の意見として法人当局に申し上げる方法がありますか。</p>

事務局	<p>御意見ありがとうございます。まず、情報セキュリティ研修についてですが、資料2-1の33ページの63について、今年度、情報セキュリティポリシー及び実施手順については見直しまで至らなかったという点が年度計画に対する目標達成ができていないという状況が見受けられましたので、今回課題として評価して頂いたと思っております。</p> <p>先程、情報セキュリティ研修の参加率の件ですが、情報セキュリティ研修を受講した時が最も意識が高く、時間の経過に従って意識が薄れていくと言われております。情報セキュリティ研修は全員受講というのが原則であろうかと思われまので、例えば、委員からこのような御意見を頂いたことを事務局より法人に伝えて年度計画の中で取り上げていただくという取組が想定されます。</p> <p>もう1点については、具体的に年度計画のどの部分に対応しますでしょうか。</p>
久峨委員	<p>参考資料の6ページに研修体系がございますが、ここには職業倫理的な研修が見受けられませんでした。例えば、テスト内容の情報を不正に流したりするものが当たるのではないかと思います。職業倫理的な研修の取組は行われていますか。</p>
事務局	<p>参考資料の6ページには事務局職員の研修体制が掲げられています。この中の、特別研修では事務局職員として特に必要と考えられる意識や知識の修得を図るとされており、この部分は例示ではありますが、コンプライアンス研修が掲げられており、遵守義務について職業倫理を発想としたところの規定等の研修が行われると思えます。</p>
久峨委員	<p>事務局職員については、SDの取組の中で対応されていくということですね。</p>
崎元委員長	<p>職業倫理について、少なくとも昨年度はやっていないようですので、評価委員会のコメントとしてFD、SDに対する今回の御意見をどこかで法人に伝えられますか。</p>
事務局	<p>委員会で出た御意見については大学に伝えることにします。</p>
崎元委員長	<p>では、そのようにしてください。他にいかがですか。</p> <p>それでは資料1については、事業番号16と28について委員の御意見を本委員会の意見として取り上げることにします。よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(了承の声あり)。</p>
崎元委員長	<p>次は、資料2-2は追加の御意見が採択された場合に、資料2-1のコメント欄に加えるコメント(案)です。事業番号28は着実から顕著に評価を上げましたが、コメントとしては原案どおり変更はありません。そして、事業番号16を着実と評価しましたので、その部分に対応するコメント(案)について審議します。現在のコメント(案)はやっている範囲のことについては、よくやっているという評価になっています。先ほど、久峨委員からありました職業倫理の意味合いは含まれませんが、どうでしょうか。</p> <p>久峨委員からありました職業倫理については、今後、FD、SDの中で取組んではどうかという意見は事務局より法人に伝えていただくということですのでよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(了承の声あり)</p>

崎元委員長	<p>それでは、このコメント(案)で決定します。</p> <p>次は、資料3の9ページです。資料3は最終案ですが、資料2-1について、先ほど事業番号16を加えるということ以外に何か変更はありますか。</p>
事務局	変更はありません。
崎元委員長	<p>それでは、まず、資料39ページについて審議します。</p> <p>資料3は評価委員会の最終報告書になりますが、情報セキュリティポリシーの見直し先送りになった点をB評価とした以外は特に御意見がなかったのでそのままA評価としています。B評価とした情報セキュリティについて、情状酌量の点があるとすれば、機器類の導入仕様がうまく確定できなかったため、情報セキュリティのソフト面の議論と一緒にできなかった。一緒にできなかったというよりは機器類の導入が遅れたから、議論も遅れたということでした。</p> <p>こちらの評価はこれでよろしいですね。</p>
委員一同	(了承の声あり)
崎元委員長	では、評価書の内容を審議します。事務局で資料3の評価について読み上げてください。
事務局	資料3全体評価部分を読み上げ。
崎元委員長	全体評価の表現等について、委員の皆さんから何か御意見はありませんでしょうか。こういうことを追加したらどうか、この言葉はわかりにくいとかなんでも結構です。
久峨委員	2ページ目の2段落目ですが、「教育研究等の質の向上」とありますが、3ページ目の項目別評価の表現が「大学の教育研究等の質の向上」となっておりまして、文言の整合が取れていません。2ページ目の2段落目に「大学の」を入れてはいかがでしょうか。
崎元委員長	<p>3ページの大項目に「大学の」と入っていますから表現を合わせるということで、2ページに「大学の」を追加します。</p> <p>本来、大学の話なので、「大学の」というのは、どこにもいらないのですが、ここで使っているので入れるということですね。</p>
事務局	鉤括弧で閉じていますので、「大学の」を入れます。
久峨委員	10ページの④も同様です。
崎元委員長	こちらは、評価実施要領ですので、事務局は実施要領を訂正してください。
事務局	資料33ページ個別評価(1)①教育について読み上げ。
崎元委員長	ここまでで、委員の皆さん何か意見はありませんか。

事務局	資料34ページ個別評価(1)②研究について読み上げ。
崎元委員長	事業番号 28 は先ほど、顕著な取組と評価を上げましたが、表現をもっと強めなくてもいいですか。
事務局	「高く評価できる」という表現で統一しています。
崎元委員長	それでは、表現を統一し「高く評価できる」とします。
事務局	資料34ページ個別評価(1)③地域貢献～⑤学生生活支援まで読み上げ。
崎元委員長	ここまでで、何か御意見ございますか。 国際化の水銀研究は「新たな取組」として評価していますが、「高く評価できる」という表現でいいですか。
事務局	「着実」以外の評価については、「高く評価できる」で統一しています。
事務局	資料36ページ個別評価(2)業務運営の改善及び効率化まで読み上げ。
田代委員	県立大学が策定している「防災・減災ビジョン」の周知はどのような状況でしょうか。県民の方に広く周知されていますか。
崎元委員長	田代委員の御質問はこの防災・減災ビジョンを公にしているか、学外に情報発信しているかということですね。
事務局	地域の皆様も参加した防災・減災の取組になりますが、周知は、理事長・学長による記者会見等において、地域の皆様に発表という形で周知が図られているという状況で、現在、ホームページでの公表までは至っていないようでございます。
田代委員	前回地域貢献というのがありました。防災・減災の取組は地域貢献とも大きく関係するわけで、県民の方にとっても大事なビジョンだと思われまます。これらを十分に活かして県民の方々からより信頼されるように、今後とも注視していきたいと思ひます。
事務局	田代委員からの御意見については、特に地域貢献の一環として、大学近隣の住民の皆様は実際にこのビジョンの中にも参画されることになると思われまますので、周知等について配慮して頂くよう、大学に伝えたいと思ひます。
田代委員	「良き社会人たれ」という言葉があります。私が、知り得たよき社会人とは、「税金を支払う、選挙に行く、地域に貢献する」です。この地域に貢献するのが、私たちの農村地域では消防団活動です。防災はここに該当しますのでしっかり認識して頂きたいと思ひます。
事務局	承知しました。

事務局	資料3 6ページ個別評価(3)財務内容の改善～(5)その他業務運営まで読み上げ。
元山委員	評価の表現の仕方ですが、例えば(3)財務内容の改善については、すべてA評価となっていますが、評価書には「全てA又はBと認められる」という表現になっていますが、違和感があります。
事務局	資料3の10ページの(1)項目別評価の③を御覧ください。 評価委員会において、業務実績報告書の検証を踏まえ、年度計画の大項目ごとに次の1～4段階で評価するとしております。ここで、「1:年度計画を順調に実施している」というのは、その項目のすべてがA又はBであることが基準になっておりまして、どの項目も「A又はBを達成している」という意味でこのように記載しております。
崎元委員長	「すべてAと認められる」としてもいいのではないかと思います。県政情報文書課長がおっしゃられた「すべてA又はBとの基準を達成している」と表現されるとわかりやすいですが、現在の「全てA又はB」という表現では、先ほど元山委員がおっしゃられたように「すべてA」でいいのではないかとこの違和感を持たれる方もいらっしゃると思います。
事務局	ご指摘のとおり、「全てA又はBとの基準を達成していると認められる」という表現に統一します。
崎元委員長	もし、そういう修正が可能であればそうしてください。 他にいかがでしょうか。
縄田委員	資料3の5ページですが、学生生活支援の表現で、「学生の人間的成長がボランティア活動や課外活動で培われる」とありますが、人間的成長は決してボランティア活動や課外活動だけでのみ培われるということではないので、ここは「ボランティア活動や課外活動が学生の人間的成長に寄与する」という意味で記載されているのだと思います。「ボランティア活動や課外活動で学生の人間的成長が培われる」としてはどうでしょうか。
崎元委員長	そのまま読めば、委員の御指摘のように捉えられる可能性がありますので、入れ替えた方がいいかもしれませんね。
事務局	入れ替えます。
崎元委員長	他に御意見はありませんか。 それでは特に御意見がなければ評価書を確定するということによろしいでしょうか。 ただ今の御審議で修正した内容を含めてこの評価書を御承認いただいたということで、これを評価委員会の評価としたいと思います。
委員一同	(了承の声あり。)

崎元委員長	<p>文言の修正等がありますが、委員の皆様におかれましては、大変ご多忙のことと存じますので、9月議会前にもう1回委員会を開催することは困難と考えております。</p> <p>最終的な文書校正は私に一任いただき事務局と調整させていただければと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員一同	(異議なしの声あり。)
崎元委員長	<p>修正内容については、私から事務局に指示し、評価書の最終案を作成します。</p> <p>続いて、その最終案を各委員にお送りし、委員の皆様全員の御了解をいただき、最終的な評価書として決定します。</p> <p>以上のように考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員一同	(了承の声あり。)
崎元委員長	後の手続きについて事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>決定後は、年度計画番号を取ったものとしますので、御了解願います。</p> <p>また、今後のスケジュールとしましては、評価実施要領に基づき、法人の意見を聴くこととなります。</p> <p>法人からの意見があった場合は、修正の場合と同様に、委員長とご相談のうえ対応させていただきたいと思っております。</p> <p>その後、評価委員会から、この評価結果について知事に対しては報告、法人に対しては通知をする運びとなります。</p> <p>なお、9月頃には、この評価結果を県民に公表することとしており、具体的には県のホームページを通じての公表を考えております。</p> <p>また、併せて県においては、9月県議会において報告する予定としております。</p> <p>今年度の評価委員会は、本日をもちまして最後となります。</p>
崎元委員長	閉会宣言